

新春を迎えて



幌延町長
宮本 明

新年あけましておめでとうございます。
町民皆様におかれましては、輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年十一月の町長選挙におきましては、皆様のあたたかいご支援をいただき、二期目の町政を担わせていただくことになりました。引き続き、「お年寄りの知恵と若者の活力、女性の視点を取り入れた、元氣な幌延町づくり」にまい進してまいりますので、皆様のご理解、ご協力をよろしく願いたします。

さて、わが国の景気拡大は、昨年十一月に

戦後最長の「いざなぎ景気」を超えたと発表されましたが、地方経済や個人の景況感は一向上昇の兆しをみせておりません。企業の設備投資や輸出が伸びたことによる景気拡大の一方、雇用者報酬は減少しており、特に北海道においては製造業が少ないうえ、公共事業が減少しているなどの状況により、なお厳しい経済状況にあります。

幌延町においても、地方交付税の減額、公共事業の縮減、牛乳の生産調整など厳しい環境が続いていますが、幸いわが町では深地層研究センターの研究事業に伴い、さまざまな事業が展開されています。深地層関係事業としては今年の夏にPR館がオープンいたしますし、地圏環境研究所の研究事業も堅実に成果をあげてきております。この機を捉え、新しい産業興しなどに、人的、物的資源を活かしてまいりたいと思えます。

福祉の向上、教育の充実、酪農業の振興、商工業の活性化など、取り組むべき課題は山積しておりますが、実施すべき事業の優先度をきちんと見極め、住みよいまちづくりを推

進してまいる所存です。なかでも、本年は懸案でありました町立北星園の整備事業、特別養護老人ホームこざくら荘の改築、町立病院の今後のあり方に向けた検討を進めてまいります。

また、平成十年度より実施してまいりました「第四次幌延町総合計画（新世紀プラン）」が、平成十九年度をもって計画期間を終了いたします。今年には計画の集大成の年として、総合計画の内容を精査してまいりますとともに、平成二十年度からスタートさせる「第五次幌延町総合計画」の策定に取り組みます。町内の各団体の皆様や町民の皆様の声をお聞かせいただき、更なる行財政改革への取り組みを進める一方、厳しい状況の中でも夢のありたいと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。

町職員一丸となって、町民の皆様との対話を大切にし、協働参加で明るいまちづくりを進めてまいりますので、本年も皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成十九年が幌延町と町民皆様にとって、幸多い一年でありますことを心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。